

＜先週の説教から＞

『ルカ52—岩の上に立つ者として』

武田真治牧師

イザヤ 28:14～18 ルカ福音書 6:46～49

『ルカによる福音書』の6章39節以下には、イエス様が話された“6つのたとえ話”があります。それらは“今、自分の目に見えるものだけで人を判断してはいけない”というテーマが一貫しているのです。今日、6つ目のたとえ話である『家と土台』はまさに“土台＝目に見えない部分こそ大事だよ”というメッセージが込められていると言えます。

即ち「わたしの言葉を聞き、それを行う人が皆、どんな人に似ているかを示そう。それは、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。洪水になって川の水がその家に押し寄せたが、しっかり建ててあったので、揺り動かすことができなかった。しかし、聞いても行わない者は、土台なしで地面に家を建てた人に似ている。川の水が押し寄せると、家はたちまち倒れ、その壊れ方がひどかった」です。ここで「家」とは、私たちの人生のことでしょう。そこで問題になるのは「土台」とは何かということです。

それには、いろいろな解釈が為されています、“内面や心”または“知識や教養”“愛情や慈しみ”等に。いずれにしろ、普段、外側からは見えない部分だと言えます。この見えない部分を「深く掘り下げる」ということは、私たち自身が意識的に“自分の見えない部分”を重視し、磨いていくことが必要となるということでしょう。人の目に付かない所は自分でしか鍛えられないからです。そのために「(イエス様の)言葉を聞き(実際に)行う(＝生きて行く)こと」が必要なのだと。そうして掘り進んで行った後、そこに「岩」＝自分の人生を立ち上げることができる確固たる“土台”を見つめられると。それこそ“確固とした信仰”ではないでしょうか。その生涯は、悔いのない人生を与えて頂けると信じます。

ただ、間違っていない点は、そのような自己研鑽を積んで行ったとしても「洪水」は襲ってくるとイエス様がおっしゃっておられる点です。私たちがどれだけ内なる事柄を大切に、深く掘り下げ、信仰という岩に固く根ざしてとして

も、人生に於いて“洪水＝困難や存在自体を脅かすような出来事”は起こって来るのだと。この点は、悲しいかな本当のことではないかと思います。ただしかし、その時にこそ“その家＝人の本当の実力”が分かる、測られると言われるのです。「しっかり建てて」ある家＝人生は「倒れない」のだと！本来「家」はそういう時のために建てられているものだからです。外側の目に見える部分は問題にはなりません。

最後に加えて、この「洪水」の時は究極的には“最後の審判”でもあると受け止められます。誰でも、この世界を離れて神様の前に立つ時が来ます。その時が来ても、イエス様という「岩」の上に立つ者は「壊れることはない」と約束してくださっているのです。その時になって、あわてることがないように生きて行きたい！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 9月3日(水) 20:00

II. 9月4日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈祷主題: シャロームの会を覚えて

担当者: (水) 金刺 (木) 保坂

祈りに覚える人: 山中さん 吉岡さん

【教勢報告】

主日礼拝 男17 女49 計66

祈祷会 I. 男3 女1 計4 II. 男1 女8 計9

日曜学校 幼稚科6 小中科7 計13

【次週主日礼拝】 9月7日(日)

聖書: 箴言 5:10

ルカによる福音書 7:1～7

説教: 「ルカ53 — かけがえのない者に！」

武田真治牧師

讃美歌: 208(1)、32、363、560、505、

【次週当番表】 78(1～2)、90(1)

司式: 相浦長老 奏楽: 勝村 礼拝: 保坂長老

配餐: 岩佐 金刺 金刺 齋藤 各長老

献金: 富澤 中澤 受付: 西尾 森本

会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田

看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・9月誕生者祝福 ・臨時教会総会 ・長老会

66 - 35

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 8月 31日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549